

市長所信表明(要約)

このたびの市長選挙におきまして、多くの市民の皆さまのご支援を賜り、再び市民の代表として市役所の運営をさせて頂きました。初心を忘れず、緊張感を持って、市政運営にあたってまいりたいと考えております。

この4年で取り組んでいかなければならない課題は、まず、社会経済情勢の変化を受けての千葉市の立ち位置の明確化です。

「起業するなら千葉市」の醸成、幕張新都心の魅力が国内外に認知されるための諸施策、蘇我副都心の整備など、今後は明確な千葉市としてのビジョンを持ち、戦略的な企業立地や産業育成に取り組んでいく必要があります。また、団地の住環境の再生、内陸部の豊かな自然、長大な海辺空間の活用などを進め、東京都市圏とは一線を画し、都会と自然が併存する都市、国際コンベンションと田園、漁場が併存する都市を目指します。

子育て支援施策は、従来の施策とは一線を画し、より父親を意識した施策を展開し、「父

親が子育てして楽しい街」を目指します。

また、保護者の目線に偏った施策ではなく、「子ども参画事業」を市の最重点施策に位置づけ、「子どもたちがここで育ちたいと思っていたらしく街」へとシフトしていきます。

教育面では、学校・図書館の充実を通じ、子どもと親の読書率日本一を目指します。

さらに、より地域への学校の開放を進め、学校支援地域本部等の導入を検討し、「学校と住民の距離が最も近い街」を目指します。

市は、政令市移行から20年を迎え、成長から成熟の時代に入り、行政主導から地域主導のまちづくりに移行していく必要があります。

市民が参加できる街のメンテナンスシステムの創設、オープンデータ化の推進などにより、千葉市が最も市民の英知を活かす街と宣言できるよう取り組みを進めます。

文化行政は、抜本的に見直し、外部人材の登用、新しい芸術文化の芽を発掘し支援する制度の創設、サブカルチャーを育てる環境を整え、新しい千葉市文化を創造していきます。

財政再建は、すぐに効果の出る再建策の多くは実施済みであり、これからは中長期的に

効果の出る健全化策の積み重ねにより、この4年間で「頂上は見えた」と言える状況にしたいと考えています。

環境・リサイクルの分野は、家庭ごみ手数料徴収制度の来年2月の実施に向けて万全の態勢で臨み、焼却ごみ1/3削減を達成し、2清掃工場体制への移行に向けた具体的な検討を行うとともに、最終処分場の延命化についても検討を進めています。

私とともに二元代表制の一翼を担って頂いている市議会の皆さま方のご理解とご協力、さらにはご助言、ご指摘、時にはご批判は不可欠であります。今後とも市議会での論戦などを通し、千葉市の未来づくりにお力を貸し頂きますようお願いを申しあげまして、私の所信の表明とさせていただきます。



常任委員会審査から

上程された議案（補正予算案、条例案、その他議案）や請願・陳情は、所管の常任委員会に付託し、細部にわたり審査しました。主な質疑をご紹介します。

総務委員会(議案2件)

「地域の元気臨時交付金」の対象事業実施の効果は

問 この交付金は、当初予算などとの合計額が約20億円ということだが、対象事業を実施することによる市民サービスの改善効果を、数値で出せるか。

答 数値化していないが、この交付金で実施する事業は、医療機器購入や施設改修など、どれも緊急性が高く、いずれは実施しなければならない事業であり、前倒しして優先的にこの交付金を活用することで、将来的な負担が軽減されると考えている。

保健消防委員会(議案4件、請願1件)

国民健康保険料改定の影響は

問 国民健康保険料は4年間で3回改定されてきたが、保険料が高くなっこことで、支払いが困難になるなどの影響がないのか、状況を伺いたい。

答 世帯の総所得金額が基準以下の世帯は保険料が軽減されており、22年度の保険料改定で、保険料の軽減率が従来の6割・4割の2段階から、7割・5割・2割の3段階へと拡充された。これにより、所得の低い人は、実質的に保険料が値下げとなっている。支払いが困難な人には、各区役所で納付相談を行い、加入者の実態に合わせて、丁寧に対応している。

環境経済委員会(議案3件)

消費生活相談の周知を

問 消費者行政活性化基金を活用し、区役所や商業施設等で消費生活相談の出張相談を行うなど、相談窓口を拡充することだが、商業施設での出張相談にどのような効果を望んでいるのか。

答 消費生活センターが行う消費生活相談の存在を知らない人が多いため、商業施設での出張相談では、会場に消費者トラブルの事例を掲示したり、買い物に来た人が気軽に相

談できる環境を作ったりするなどして、啓発や相談に取り組みたい。また、一部土日にも実施するなど、普段相談に来られない人が来られるという効果を考えている。

教育未来委員会(議案3件、請願2件)

学力向上サポーターの役割は

問 学力向上サポーターの活動内容はどのようなものか。また、どのような児童を対象として指導を行うのか。

答 授業時間中に個々の児童に付き添っての指導や別室での個別指導、放課後の補習等の形式で算数を指導する。経験の少ない講師が配置されている小学校、少人数指導教員が配置されていない小学校、児童数が35人以上の学級がある小学校のうち25校への配置を考えている。特に学習につまずいている児童を対象に、小数や割り算など、基本的なつまずきをなくす支援を考えている。

都市建設委員会(議案5件、発議1件、陳情1件)

千葉駅西口の再開発の進行状況は

問 千葉駅西口地区では、本年秋に再開発ビル(WESTRIOウェストリオ)が完成する予定であるが、スケジュールやテナントの募集状況は。

答 西口再開発地区はA・Bの2工区に分かれしており、A棟(WESTRIO)及び交通広場がある「A工区」は、本年度末に全体の工事が完了する予定である。

A棟のテナントについては、10月のオープンの頃にはほぼ決定する見込みである。

また、「B工区」はB棟、公園、自転車駐車場の建設が予定されており、B棟については市が建設するのではなく、民間活力を活用し、駅前にふさわしいものとなるよう今年度中に募集をしたい。



再開発ビル (WESTRIOウェストリオ) イメージ図

平成25年第2回定例会 可決した主な議案

※各会派の賛否状況は8面

平成25年度会計予算に 74億8,900万円を追加

- 補正予算の主なものは次のとおりです。
- 地方公共団体金融機構借入金を、より有利に借り換えるため、繰上償還を実施（公債管理特別会計）
- 医療機器の更新（病院事業会計）
- 道路の舗装改良（一般会計）
- 理科教育設備の整備（一般会計）

市職員の給与に関する条例の 臨時特例に関する条例の制定

厳しい財政状況や、国家公務員の給与の減額を理由に地方交付税が削減されたことを踏まえ、一般職の職員の給与の減額措置を強化します。（△15.1%～△2.4%）
(H25.7.1～H26.3.31)

特別職の職員の給与並びに旅費及び 費用弁償に関する条例の一部改正

厳しい財政状況や、国家公務員の給与の減額を理由に地方交付税が削減されたことを踏まえ、特別職の給与の減額措置を強化します。(H25.7.1～H27.3.31)

減額措置の内容

	市長	副市長	常勤監査委員 病院事業管理者
給料（～26.3）	△25%	△15%	△15%
給料（～27.3）	△20%	△10%	△10%
地域手当	△20%	△10%	△10%
期末手当	△50%	△30%	△15%
退職手当	△50%	△10%	△ 5%

※教育長については、常勤の監査委員の例により減額

都市公園条例の一部改正

新たに蘇我スポーツ公園内にサッカー、軟式野球、ラグビー等ができる第1多目的グラウンドを設置します。(H26.4.1オープン予定)

損害賠償額の決定及び和解

当時、市立中学2年生の生徒が自然教室実施中の事故で亡くなられた件について、損害賠償額を決定し、和解しました。